

教科 名	生物	科 目 名	生物基礎演習	履修クラス	3年自由選択	
				担 当 者		
使用教科書		「B i o L o g y 生物基礎」・東京書籍			履修単位数	2
副教材等		「つかむ生物基礎」浜島書店 「スクエア生物図説」第一学習社				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
1年次履修した「生物基礎」を発展・深化させ、幅広い観点から問題演習を中心に生命現象を理解させる。大学入学共通テスト・医療系・看護系入試に対応できる学力を身につけさせる。	生物の様々な現象や法則性・多様性について理解できているか否か、入試過去問を中心に定期考査を行い、評価する。生物基礎の発展的な用語に対する理解についての評価が主となる。

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考査 まで 12	生物の特徴	生物の多様性と共通性について、様々な例を取り上げ、実験・観察を多く取り入れて、理解を深めさせる。
5			
6	期末 考査 まで 14	遺伝子とそ のはたらき	遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成 問題演習を数多く行うことで、遺伝子のはたらきを総合的に理解させる。
7			
9	中間 考査 まで 14	生物の体内 環境の維持	体内環境 体内環境の調節 免疫 生物体内で起きている多くの現象について総合的に理解させる。
10			
11	期末 考査 まで 14	生物の多様 性と生態系	植生、バイオーム、生態系 生物が環境の中でどのような役割を果たしているか理解させる。
12			
1	3学年 特別 講習 期間		入試対策 各自の進路に応じた入試対策・問題演習
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
大学入学共通テストや看護系など生物基礎での受験を目指す生徒が1年次に学習した内容を整理し、深め高めていく講座である。各単元の復習と大学入学共通テストレベルの演習問題を中心に学習していく。予習・復習を行い自分の苦手とする問題を繰り返し演習していくことで実力をつけることができる。教科書と図説は1年次に使用したものをを用いる。